

活用事例

- 橋長 : 355.9m、幅員 : 11.3m
- 橋梁形式 : 8径間連続合成鋼桁橋
- 対象部位・部材 : P18橋脚起点面
- 性能カタログ(又はNETIS)番号 : BR010024-V0424

☆ [性能カタログへのリンク](#)

橋梁・支援技術





- 点検支援技術の効果
- ・AIでの画像解析によってひびわれ幅が検出されるため、人的要因による誤差が少ない。【ひびみつけ】
  - ・ひびわれ幅の自動検出および損傷図作成の一連作業が可能のため内業の効率化となる。【ひびみつけ】
  - ・従来技術では、橋梁点検車と足場の併用だったが、写真取得にドローン技術を活用できるため、交通規制費及び点検時間の短縮が図れる【ドローン】
- 近接目視と同等と判断した理由
- ・橋梁点検車と同じ範囲、アングルの写真撮影が可能である。【ドローン】
  - ・人による近接目視同様に0.1mmのひびわれ検出が可能である。【ひびみつけ】
- 使用時の留意事項
- ・損傷撮影の際は、機器の規格(解像度)によって結果が左右されるため、規格には十分留意した写真取得を検討する必要がある。
  - ・解像度の低い画質の場合、ひびわれ検出が正確にできない場合がある。
  - ・ドローン技術を併用する場合、第三者影響範囲では、打音点検の併用が必要。1



写真-1 現地写真

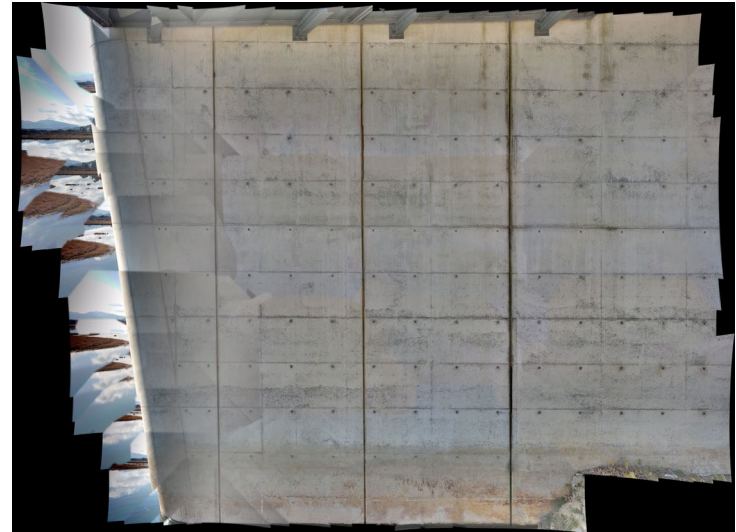


写真-2 オルソ画像

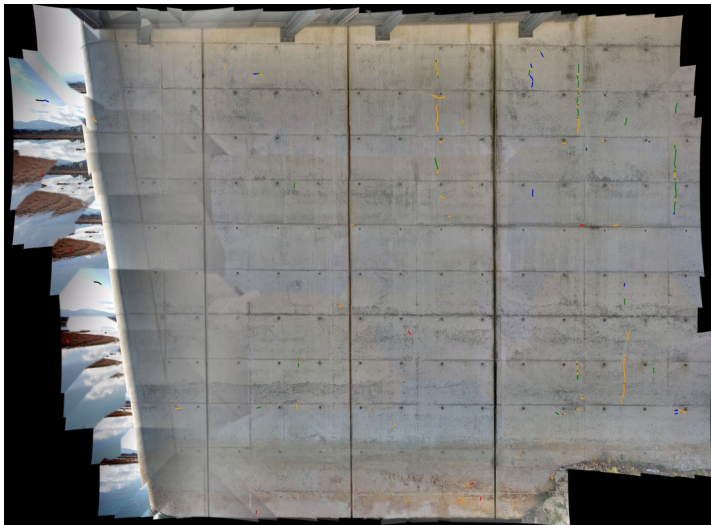


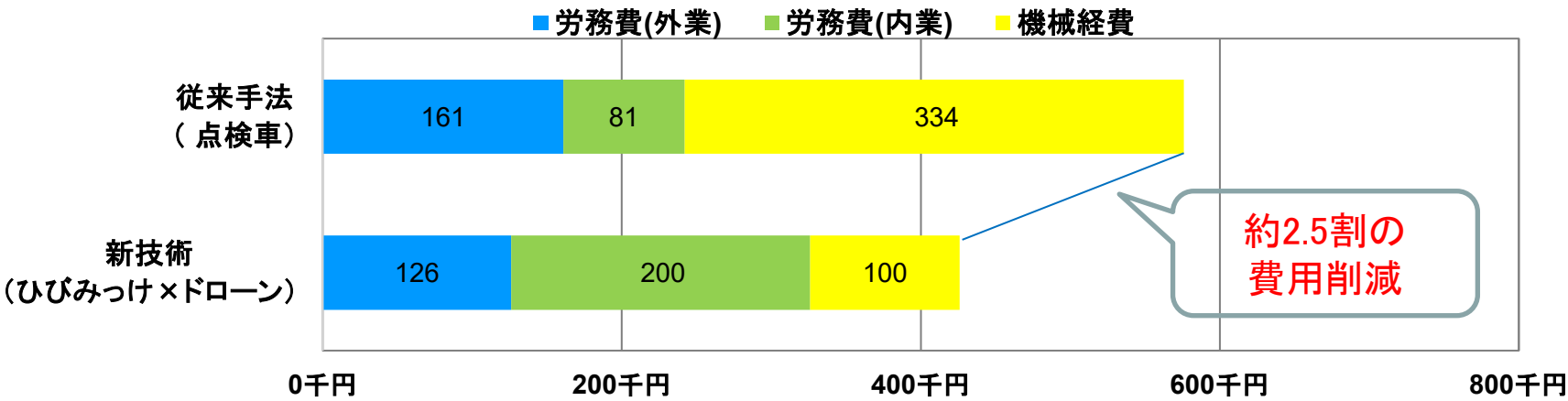
写真-3 解析画像



写真-4 解析画像拡大

コスト比較

比較条件:P18の点検と比較。  
評価:従来技術と比べ、外業、機械経費のコストダウンに寄与。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	点検車による画像撮影	ドローンによる画像撮影
内業	撮影データの確認 ひびわれ図作成	測定データの解析
比較対象	点検車	ドローン ひびみっけ
合計金額	576千円	426千円
工程	0.5日	0.5日

- 諸条件  
点検箇所:1基  
天 候:晴れ  
対象部位・部材 :P18起点面  
進入路:有り  
点検時間:9:00～12:00  
たたき落とし作業:無し  
積 算:業者見積もり  
前回の健全度:Ⅱ判定